

# 中学校国語

一 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

次の文章を読んで、一～七の問いに答えよ。

著作権法により本文は、略します。

小川洋子「物語の役割」より（一部表記等を改めた。）

一 本文中のa、cのカタカナは漢字に直し（楷書で正確に書くこと）、b、dの漢字には読みがなをひらがなで記せ。

a カクウ      b 馳せ      c トげる      d 一旦

二 A に入る言葉は何か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、記号で記せ。

ア 変化      イ 孤独      ウ 才能      エ 眠り

三 ① この日記の素晴らしさ とあるが、この日記の価値を他の言葉で何と表現しているか。本文中から最も適当な言葉をさがし、五字で抜き出して記せ。

② 四 それを思春期の只中であつた少女がやつてのけたのです とあるが、この表現から読み取れる筆者の考えとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

- ア 目前の死を意識しながらも、みごとに思春期を表現している。
- イ 強い守りを必要とせずに、のびのびと思春期を表現している。
- ウ 平和を強く願ひ、将来の夢に託して力強く思春期を表現している。
- エ 未熟な年齢ながらも、才能豊かに生き生きと思春期を表現している。

③ 五 悪意によつてもたらされたマイナスの場所 とあるが、ここではどのような生活を送らざるをえなかつたのか。生活という言葉に続くように、本文中から最も適当な部分をさがし、二十八字で記せ。

④ 六 自分を現実から守ることができた とあるが、読書によつてなぜ思春期の自分を現実から守ることができたのか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、記号で記せ。

- ア 自分の殻を打ち破ることで、現実から目を背けずに生活を送ることができたから。
- イ 現実にはわすらわされることなく自分と向き合い、自己を高めることができたから。
- ウ 想像力を養ひ、現実と向き合うことのできる強さを身につけることができたから。
- エ 読書という強い守りの中で、現実の作家としての才能を伸ばすことができたから。

⑤ 七 決定的な本と出合う とあるが、生徒に決定的な本と出合わせるために、あなたは新中学校学習指導要領「国語」において、読書についての指導事項をどのような言語活動を通して指導しようと考えているか。あなたの考えを二六〇字以上三〇〇字以内で書け。

二

次の文章を読んで、一～七の問いに答えよ。

著作権法により本文は、略します。

中島敦 『弟子』より（一部表記等を改めた。）

一 本文中のaのカタカナは漢字に直し（楷書で正確に書くこと）、bの漢字には読みがなをひらがなで記せ。

- a シンスイ
- b 艱苦

- 二 **A** に入る言葉は何か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、記号で記せ。  
ア 長剣    イ 論語    ウ 理想    エ 常識
- 三 ① 関連 とあるが、この言葉の意味を二十字以内で説明せよ。
- 四 ② 感じ とあるが、この動詞の活用の種類と活用の形を記せ。
- 五 ③ 門に入つて未だ一月ならずして、最早、この精神的支柱から離れ得ない とあるが、なぜか。その理由を四十字以内で記せ。
- 六 ④ しじゅうにしてまどわず とあるが、白文に直して、記せ。
- 七 本文中で子路の人物像をどのように描写しているか。次のア～カからあてはまるものをすべて選び、記号で記せ。  
ア 自分も人を引きつける魅力のある孔子のようになりたいと強く願っていた。  
イ 孔子のそばにいて、孔子と一緒に放浪の旅をすることを喜びとしていた。  
ウ 孔子の良さを感じ取り、認めて従うことのできる豊かな感受性をもっていた。  
エ 学に優れてはいるが、世間に受け入れられない孔子の助けになろうと考えていた。  
オ 孔子に直接諭され、人間の偉さはその利用価値にあるという考え方を変えた。  
カ 放蕩無頼の生活を繰り返していたが、孔子の人柄に触れ生き方を変える決心をした。

**三**

著作権法により本文は、略します。

次の文章を読んで、一～五の問いに答えよ。

日本古典文学全集『徒然草』第三二段から（一部表記等を改めた。）

- 一 ① 九月廿日 とあるが、読みがなをひらがなで記せ。ただし、月名は陰暦の異称によること。
- 二 ② いとものあはれなり とあるが、どういう点について、いとものあはれなり と言っているのか。五十字以内で説明せよ。
- 三 ③ 出で給ひぬれど の主語にあたる人物は誰か。次のア～エから適切なものを一つ選び、記号で記せ。  
ア 筆者  
イ 筆者の連れ  
ウ その家の住人  
エ 亡くなった人
- 四 ④ 口惜しからまし とあるが、口語訳を記せ。
- 五 ⑤ かやうの事 とはどのようなことか。三十字以内で説明せよ。

**四**

新中学校学習指導要領「国語」の「第三 指導計画の作成と内容の取扱い」について、内容のA・B各領域の年間授業時数はどのように示されているか。次の表の **A** ～ **ク** に入る数字を記せ。

学年	領域	「A 話すこと・聞くこと」	「B 書くこと」
第一及び第二学年		ア 〃 イ 〃 単位時間程度	ウ 〃 エ 〃 単位時間程度
第三学年		オ 〃 カ 〃 単位時間程度	キ 〃 ク 〃 単位時間程度